

2006年3月東北支部常議員会議事録（案）

日 時：2006年3月23日（木）15:00-17:00

場 所：日本建築学会東北支部会議室

出席者：近江，大野，込山，野内，宮腰，山田，横山、山北、山畑

《資料》

資料1 2006年2月常議員会議事録

資料2 第26回東北建築賞の決定について

資料3 全国大学・高専卒業設計展の日程

資料4 1月,2月会計報告

資料5 2006年度収支予算書

資料6 日本建築学会東北支部事務局給与取り決め

資料7 2006年度日本建築学会東北支部総会及び関連イベント

資料8 第27回東北建築賞・第17回東北建築作品発表会応募要項

資料9 みちのくの風秋田2006

資料10 2006年度「建築文化事業」開催方ご依頼について

別紙1 支部常議員会への報告

別紙2 第26回東北建築賞第1次審査会議事録

《議事》（敬称略）

1. 前回議事録確認〔資料1〕（大野）

- ・原案通り承認された。

2. 報告事項

(1) 第26回東北建築賞選考結果報告〔資料2〕（宮腰）

- ・受賞作品数が例年よりも少ない理由は、小規模建築部門の応募数が少なかったことや、審査基準を重視して東北建築賞としてふさわしいものを選んだためである。作品奨励賞も作品賞の次点としてではなく、奨励賞の審査基準を重視して選んでいる。
- ・研究奨励賞については常議員によるメール投票の結果、今回は受賞を認めることとなった。ただし募集要項（年齢制限を明記せず）と内規（年齢制限あり）が整合するように募集要項を修正することとした。

(2) 全国大学・高専卒業設計展の日程について〔資料3〕（事務局）

- ・確定した日程が報告された。

(3) 1,2月会計報告〔資料4〕（横山）

- ・原案通り了承された。

(4) 本部理事会報告および地方支部学協会の連携について〔別紙1〕（支部長）

- ・関連学協会東北支部との連携については、どの支部も会員・財政が縮小する中で独自性を出そうとして無理をしている。これを打開するために、将来的には建築に係わる団体のコンソーシアムのような組織を作って、各団体の負担を軽減しつつ活動を進めるのいいのではないかと。手始めに東北建築

賞等の建築賞の選考を共同で行い、受賞作品をそれぞれの基準で選ぶような方向が望ましいと思う。

3. 審議事項

(1) 2006年度予算(案)について〔資料5〕(横山)

- ・現状、各部会には調査研究事業費から5万円、建築教育事業費から4万円が分配されている。部会の活動費としては十分ではないので、部会の統合・休会や、全部会に分配するのではなく、何年かに一度に分配するといった工夫が必要と思われる。
- ・現時点の予算案では前期繰り越し金をゼロと見込んでいるので65万円の赤字となっているが、今期の決算確定後にシンポジウム収入等を繰り入れれば大体相殺できる見込み。

(2) 事務局の待遇について〔資料6〕(事務局)

- ・会計担当で、支部財政(今後収入が減少していく見込み)への影響を踏まえて案を作成して欲しい。

(3) 支部総会と付随行事について〔資料7〕(支部長)

- ・総会担当 司会：船木，議事録：出村，議事録署名人：大沼・小沢(予定)，
事業報告・計画案報告：大野，決算・予算報告：横山，会計監査：高砂
- ・表彰式担当 進行：山畑
- ・みちのくの風関係者は14:00の総務会から出席。
- ・本部で表彰された方は改めて支部では表彰しないが、祝賀会には招待することとしたい。
- ・名誉会員になられた佐藤巧先生を招待してスピーチしていただく。
- ・個人会員の表彰対象者(支部役員・部会長を勤めた方)を再度確認する。

(4) 第27回東北建築賞の応募要項について〔資料8，別紙2〕(宮腰)

- ・審査が要項の文言に過度に影響されることのないよう、下記のように変更することとなった。
 - ・前書き：「東北らしい建築作品に対する論議が深まることを期待して、」を削除
 - ・1.表彰目的 「東北地方の地域特性に立脚してその…」→「東北地方において」に変更
- ・研究奨励賞については、要項と内規を整合させるため、要項を下記のように変更する。
 - ・2.(2)の、「若手研究者及び大学院生の研究」→「若手研究者(発表時に40才未満)」に変更
 - ・3.(2)の、「若手研究者及び大学院生」→「若手研究者(発表時に40才未満)」に変更。2行目の「また、」を「ただし、」に変更
- ・その他下記の点を変更
 - ・7.(3)の最後の文、「又、東北建築作品集は、東北地方400市町村及び大学等に送付することとする。」を削除(補助がなくなったため)。
 - ・8.(3)を削除(そもそも独立して選考されていること。以前は重複審査を避ける目的があったが、現在は時期をずらして応募するので意味がなくなってきたため)。
 - ・著作権に関する記述を挿入。
- ・東北建築賞作品賞選考方法内規の第3条2の最後の文「(受賞点数の2倍を下まわらないこと)」→「(受賞点数の2倍を下まわらないこと。ただし現地調査該当なしもありうる。)」に変更

(5) みちのくの風2006秋田の進捗状況について〔資料9〕(山田)

- ・お弁当の手配：常議員はなし。学生アルバイトと招待講演者(18日のみ)は用意する。
- ・会長懇談会は研修室6(控室-15名まで)で、会長+本部+支部長+支所長+支部常議員総務担当でお弁当をとりながら開催する。
- ・東北建築賞パネル展は、今回は受賞作品が少なく、パネルが足りない(会場40枚に対して受賞作品

では 20 枚程度) ので, 秋田県立大の方で卒計作品など何か用意して欲しい。

(6) 2006 年度「建築文化事業」開催について [資料 10] (事務局)

- ・例年通り福島と山形で開催を予定している。4 月 15 日までに関係団体には企画書を提出いただき、4 月常議委員会で承認後、本部へ提出することとなる。

以上

《次回の予定》

拡大総務会	4/18(火) 14:00-16:00	(総務+込山+野内)
常議員会	メール会議	(ネットワーク会議)

《次次回の予定》

拡大総務会	5/13(土) 14:00-15:00	総務+みちのくの風担当
常議員会	5/23(土) 15:00-16:00	新常議委員も交えて